

(調査項目)

- 消費者物価の動向（山形市の生鮮食品を除く総合指数の推移、山形市・仙台市の前年同月比（％）の推移）
- 個人消費の動向（県内の百貨店・スーパー販売額（百万円）の推移、山形・宮城の販売額前年同月比（％）の推移）
- 業界別の販売動向（百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストア、ホームセンターの県内販売額前年同月比（％）の推移）
- 景気動向指数（管内の小規模事業者の景気動向指数（業況判断DI）を業種別に比較）

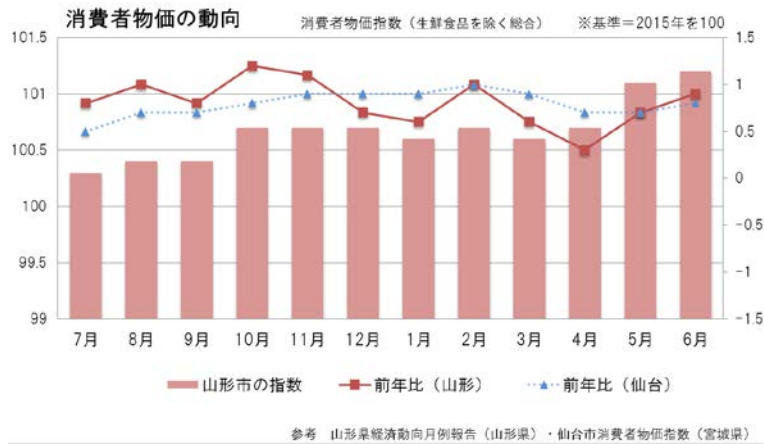
○調査実施

もがみ北部商工会

〒999-5312 山形県最上郡真室川町新町

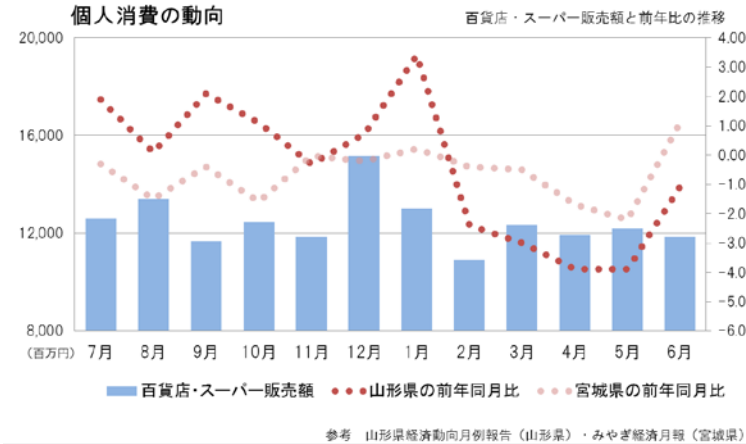
TEL0233-62-2075

URL <http://mo-gami.jp>



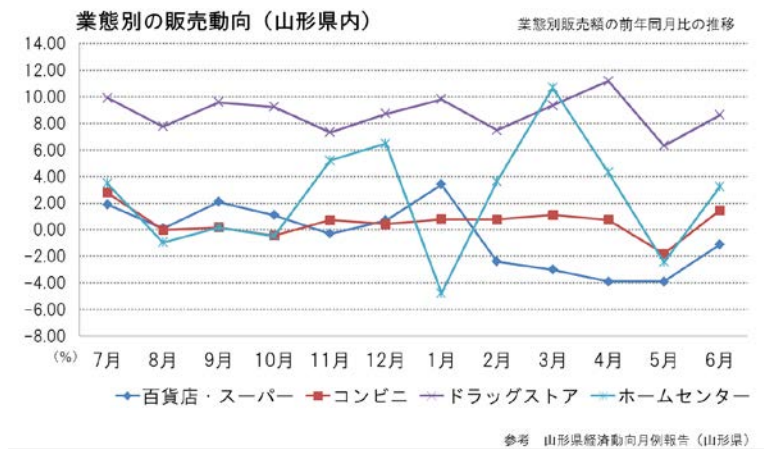
[概況]
今期も前年の水準を上回っており、緩やかな上昇傾向が継続。

2018/6前年比
山形：0.9%
宮城：0.8%



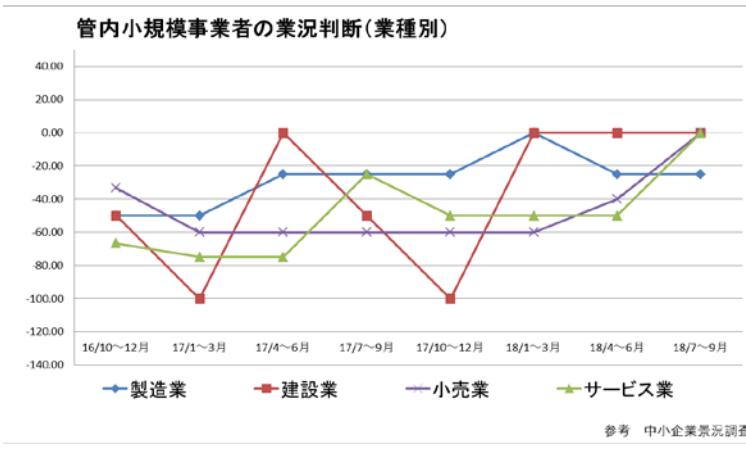
[概況]
個人消費は持ち直しているものの県内の販売額は3ヶ月連続で前年比マイナス

2018/6前年比
山形：△1.1%
宮城：1.1%



[概況]
全業態で持ち直しの傾向も百貨店・スーパーは前年比マイナスが続く。

2018/3前年比
百・ス：△1.1%
コンビニ：1.5%
ドラッグS：8.6%
ホームC：3.3%



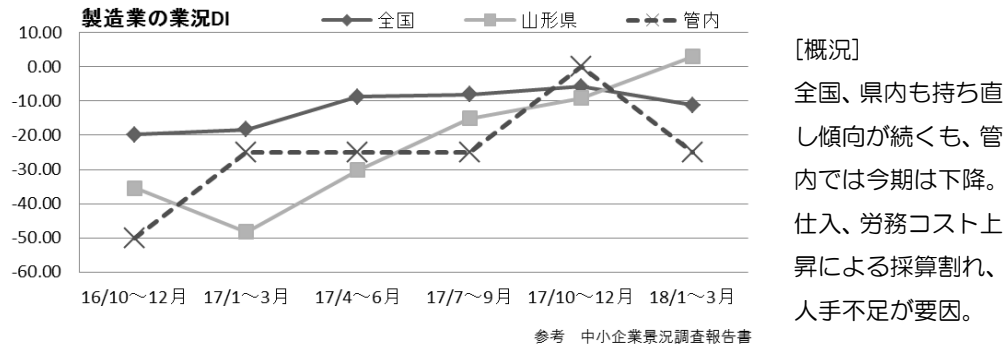
[概況]
製造業は売上上昇も採算悪化のため前年比マイナス

2018/3前年比
製造：△25.0
建設：0.0
小売：0.0
サービス：0.0

○業種別の景気動向指数（管内・県内・全国の小規模事業者の景気動向指数（業況判断DI）を比較）

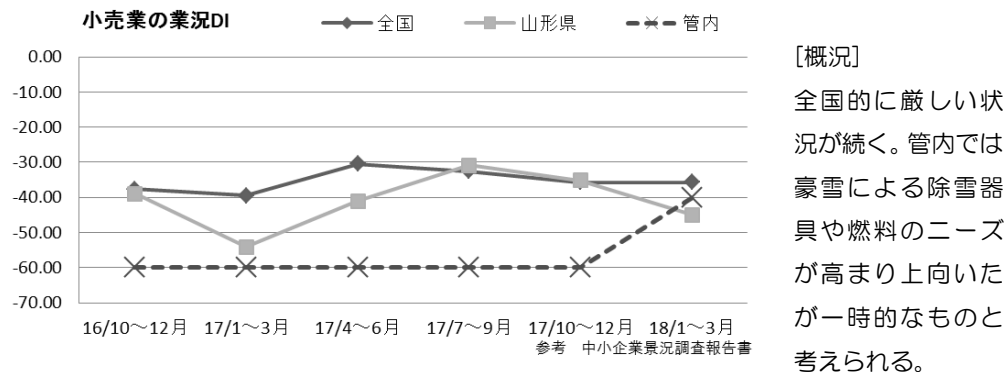
○業況判断DI…調査対象企業に「1：好転」「2：不変」「3：悪化」という質問を行い、「好転」を選んだ回答社数の構成比（%）から「悪化」を選んだ回答社数の構成比（%）を引いたもの。全国・山形県は中小機構が実施する「中小企業景況調査」を参考に。管内企業への調査は当会が独自に実施している管内景況調査による。

○全国調査員のコメント（下段）…全国連で収集する各業種における景況に関する特徴的なコメントを掲載しています。



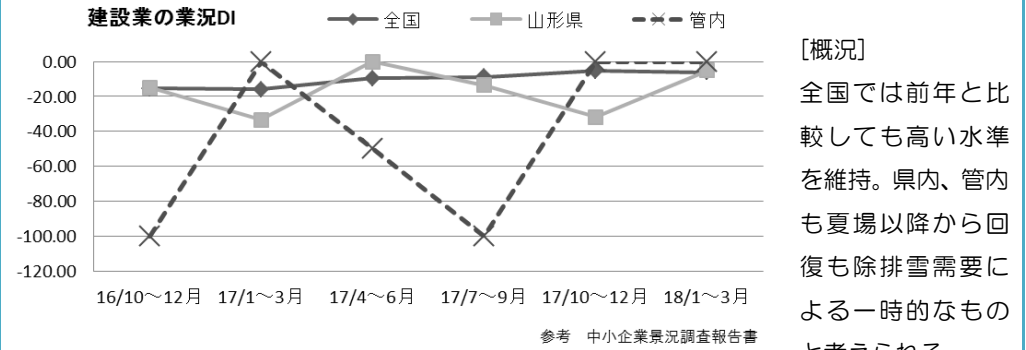
[概況]
 全国、県内も持ち直し傾向が続くも、管内では今期は下降。仕入、労務コスト上昇による採算割れ、人手不足が要因。

金属加工関連の製造業は、受注が伸びているが仕入れ単価も上昇している。（群馬）
 自動車関連の製造業は数ヶ月先まで受注はある。ただし、利幅は依然として低い。（山形）
 歳暮需要は年々縮小傾向。梱包費、包材、送料の単価上昇により採算に影響。（秋田）



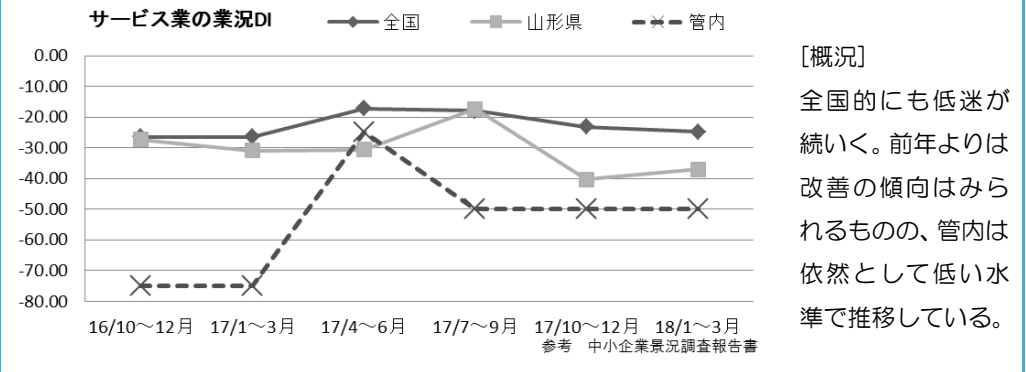
[概況]
 全国的に厳しい状況が続く。管内では豪雪による除雪器具や燃料のニーズが高まり上向いたが一時的なものと考えられる。

食料品の仕入価格の高騰による価格転嫁の影響か、買い上げ点数の減少で売上が減少。（栃木）
 燃料関連の小売業は、価格競争に巻き込まれているため、利益を上げられない状況。（鹿児島）
 暖房等、必要な家電の新規買い替えはあるが、他の大型商品の動きは鈍い。（富山）



[概況]
 全国では前年と比較しても高い水準を維持。県内、管内も夏場以降から回復も除排雪需要による一時的なものと考えられる。

降雪による除雪請負の事業者は前年に比較し繁忙である。（北海道）
 オリンピック特需の恩恵はあまり見られないが修繕を主体とした民需は感じられる。（秋田）
 域内でシェアを持っており域外に販路を求めてこなかった事業所は大変厳しい状況（長野）



[概況]
 全国的にも低迷が続く。前年よりは改善の傾向はみられるものの、管内は依然として低い水準で推移している。

旅館業はインバウンド、富裕層向けサービスを構築している事業者の売上は増加傾向。（山形）
 正月前にカットして新年を迎えようとする風潮がなくなり理美容はやや悪くなった。（岡山）
 飲食業は、慢性的な従業員不足で団体客の受け入れが出来ないところもある。（静岡）

※景気動向調査は全国・県内の調査結果公表に合せての報告となっています。